



THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

The Y's Men's Club of Nagoya

CHARTERED AUGUST 27, 1947

c/o NAGOYA YMCA 2-7, HARUOKA, 1CHOUME CHIKUSA-KU, NAGOYA, 464-0848 JAPAN

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

主 題 (2023/2024)

2023 ~ 2024 9月号 (No920)

国際会長：輝かそう、あなたの光を
アジア太平洋地域会長：変革のための光となるう
西日本区理事：未来に灯そう（ともそう）希望の光り
中部部長：みんなで参画
名古屋クラブ会長：人生の喜びを大いに分かち合おう ワイズと共に！

9月例会プログラム

と き：2023年9月12日(火)7:00p.m. ~ 8:30p.m.
ところ：名古屋 YMCA

司会 渡辺 真悟 君
会長 戸田 真二 君
開会宣言
ワイズソング
聖書朗読 河辺 薫 君
プログラム：EMCについて
ワイズ入会のきっかけやワイズの魅力・やりがいについて、カタリバとして分かち合うクラブミーティングです。納涼例会のゲスト勧誘や学童キャンプ奉仕者へのアプローチなど、会員増強の意識高揚をクラブ内で図ります。

ハッピーバースディ・諸報告・ニコボックス
閉会宣言 会長 戸田 真二 君

7月より第1例会での会食を再開しました。食事の用意の為に“出欠の連絡”を9月6日(水)までに必ず戸田会長までしてください。無駄な食材や出費を出さないためにも出欠連絡をよろしくお願いいたします。

第2例会

と き：2023年9月18日(月) 7:00p.m. ~ 8:30p.m.
ところ：Zoom

プログラム：今期プログラムと例会の持ち方、その他
※今期も第二例会の曜日が変更になっています。ご注意ください。

10月号 原稿担当者

巻頭言 中村 隆君 9月第一例会レポート 河部 薫君

会長 戸田真二 書記 川本
副会長 加藤明宏 会計 平野、谷川
プリテン 渡辺、戸田、平野、久保田

みつかる・つながる・よくなっていく「絆」

都 築 正 和

小生がYMCAと関わりを持ったのは高校1年の時、父がパンフレットを持ってきたYMCA教育部の英語と数学を習ったのが始まりでした。土曜日になると少年部のメンバーが「ワイワイガヤガヤ」卓球を楽しんでいるのを見るたびに羨ましく月～金には教育部の仲間と勝手に卓球を楽しんでいると終生の師となる少年部の秋重主事に「卓球がしたいのであれば少年部に入れ」の一言で親には内緒で少年部に移りました。その後メンバーとしてリーダーとして楽しく活動してましたが大学2年の時父を病で亡くし大学の中退を考えていた時励ましてくれたのが秋重主事でした。「日本育英会奨学金」（返還義務有り）と大学の奨学金（返還義務なし）両方受けることが出来、又当時のYMCAはユースホステルを併設しており「宿直のアルバイトをしたら」と紹介されたのが総務部の川口主事でした。夕食に困るだろうと心配して併設していたレストランのチケットを手配してくれ大変お世話になりました。

その後自動車ディーラーの営業職として就職 その年にリーダーOBとしてキャンプに参加オーバーナイトで大変な事故に遭遇。やはり秋重主事に「YMCAに迷惑をかけたのだからボランティアをしたら」と紹介されたのが「名古屋ワイズ」でした。当時のワイズは東西が無く日本区で最も若い24歳のワイズ誕生です。当時の名古屋クラブは将に企業人の集まりで肩身が狭かったが暖かく迎えてくれ色々な役も任せていただきました。その後秋重主事は南山に転勤 小生も後を追うように南山クラブに転籍しました。当時営業職として又労働組合の役員として生来不器用な小生がワイズ活動を同時にこなすことが困難になりワ

8月クラブ出席		B F		8月 個人出席										第1例会 ゲスト（敬称略）：吉田光代、岩川衛、藤田瑠美、藤田華子、岩田千咲子、川瀬恒史、南里道子、YMCAスタッフ：遠山奈月、小島陽、東海クラブ：松本勝（部長公式訪問）、浅野猛男、南山ハーベストクラブ：小林滋記、とやまクラブ：清水淳、グランパスクラブ：荒川恭次、荒川恒子、高田士嗣、服部庄三、服部智子、早川政人、早川弘美、吉田一誠、松原行謙、松原好加
在籍	18名	切手	Opt	第1	第2	第1	第2	第1	第2	第1	第2	第1	第2	
第1例会	11名	8月	現金	Opt	小尾	鈴木	西村	○	R	○	R	○	R	
メネット	0名		川口	加藤	相馬	平野	○	R	○	R	○	R	○	R
ゲスト・ピジター	23名	7~8月累計	小計	Opt	河部	谷川	深谷	○	R	○	R	○	R	
第2例会	8名		切手	Opt	川本	都築	渡辺	○	R	○	R	○	R	
メネット	0名	現金	Opt	久保田	戸田	中井	○	R	○	R	○	R		
ゲスト・ピジター	0名	塩田			中村									
メーキャップ	1名	合計	Opt											
出席率	80%													

○出席 R リモート出席 M メーキャップ

イズを退会する事になりました。営業職としてYMCAの職員・先輩・同輩・後輩リーダーOBに大変お世話になりました。中でもやはり秋重主事の要望で中古のハイラックス4WD「日和田号」を購入していただいたことです。赤色と記憶しています。当時のハイラックスは今と違いトラックその物でクッションが悪く上前津から日和田までよく走ったものだと思っています（現在はオフロード車として老若男女大人気車です）。定年を迎え義父の社業1社と自ら起業した社業の代表を務める事になった頃「南山クラブ」に戻ったらとお誘いが有り再入会しました。東北震災の年でその年の1文字が「絆」と記憶しています。色々綴って来ましたがほろ苦い青春時代・が

むしゃらに走った壮年時代そして現在に至る迄いずれの時もYMCA・ワイズメンズクラブが小生の脇にいます。数年前からYMCA・ワイズメンズクラブで知り合った終生の友人小生を含め3名で「仮称・暇人クラブ」を結成「東海道珍道中」をしています。これも「絆」だと思います。本年12月には日本橋に到着する予定で東京の大学にいる3女が出迎えるとのことで楽しみにしています。「絆・我が人生に悔いなし」を座右の銘としてのんびり・ゆったり過ごして行きたいと思っています。追記：色々な場面で秋重さんが登場しますが「忖度」はありません。

■■■ 第1例会レポート ■■■

8月の第一例会は暑さを乗り切ろうと納涼例会 かつゲストを沢山呼んで会員増強に繋げようと言うプラスワン例会として初めての試みですが名古屋港を周遊するクルーズ船を一隻借り切ったのナイトクルーズ納涼特別例会です。

8月22日(火)19時にゲスト7名、名古屋クラブ11名、他のワイズメンズクラブから14名、YMCA若手スタッフ2名の合計34名を載せて名古屋港ガーデンふ頭を出航です。もうちょっとゲストが多いと良かったかな。

出航したら港の外に向かって南に進むかなと思ったらぐるーっとUターンをして堀川を上流に向かいます。途中屋形船の形をした遊覧船とすれ違いながら熱田の宮の渡し跡の灯籠を見てから引き返します。江戸時代まではこら辺りまでは一面海で 東海道もここから桑名までは海のルートだったとはとても思えません。

一階の船内で開会式の後2階の展望デッキに移った人は夜風に当たりながら外の景色を堪能しています。一方一階の船内に残った人は外の景色よりも話が大いに盛り上がっている様子です。どちらも美味しい料理と沢山持ち込んだ飲み物

を満喫していました。

港に再度出ると船は一路南へ進み レインボーブリッジをくぐり 行き交う船や沿岸の工場の照明を見ながら東海市の製鉄所の沖まで行ってUターンしてガーデンふ頭迄戻りました。約2時間 景色を楽しみながら大いに飲み食いかつ語り合っって親交を深めた楽しい例会でした。(なお当日の写真をご覧に成りたい方はFacebookの名古屋ワイズメンズクラブを検索して見る事ができます) (渡辺 真悟)



■■■ 第2例会レポート ■■■

とき：2023年8月14日(月) 19:00～20:30
ところ：Zoomリモート

1. 2023-2024 上半期例会プログラム

月日	曜日	会場	プログラム
9	12	火 YMCA	① EMC について
	18	月 Zoom	② 役員会
10	10	火 YMCA	① CS 事業 (南山ハーベストクラブ)
	16	月 Zoom	② 役員会

8/22 納涼ナイトクルーズ例会の確認 担当：戸田・川本

- 参加状況 名古屋ワイズ：12名、他クラブワイズ・メネット：17名、ゲスト：6名 総勢：35名
- 会計担当：谷川ワイズ：集金は当日船内にて。クラブ負担金は27,000円（新入Yスタッフ2名分、飲料持込料、クラブメンバー食事補助）
- 備品担当：川本ワイズ：バナーなどは今回持ち込まない。

名札は養生テープ+マジックインキで代用する。配布物：ゲスト用クラブプリテン、ワイズソング歌詞カード。

- プログラム：ゲストファーストで交流第一、ナイトビューを楽しむ、飲み物は持ち込み大歓迎。

9月第一例会 9/12 メンバーミーティング(EMCについて)

- ワイズ入会のきっかけとワイズの魅力・やりがいについて、カタリバとして分かち合うクラブミーティングとする。
- 会員増強の意識高揚を図る。(納涼例会ゲスト、学童キャンプ奉仕者へのアプローチなど)
- 食事については、戸田・川本で調整

10月第一例会 10/10 卓話例会 (CS 環境事業を意識)

- 候補：南山ハーベストクラブ主幹の荒川文門氏をお招きし、その活動内容などを知り、名古屋クラブがCS事業の一環としてその関わり方を確認する。

2. 9月以降の参加行事 (YMCA以外)

- 9/23(土) 中部部会 12:30～16:30 会場：アイリ

ス愛知 会費：10,000 円

プログラム 語り継ぐ：「戦艦大和と乗組員」語り部：里見まさと氏（ザ・ぼんち）

- 9/30(土)～10/1(日) 日和田名星舎ワークキャンプ… 詳細未定（業者の見積待ち）
- 10/8(日) 南山ハーベストクラブ収穫祭
- 10/9(祝) 秋の根の上まつり（予定）

3. YMCAより

- 8/25～8/29 訪韓 日韓ユースセミナー
参加予定者：ユースリーダー4名、高校生1名、他Yユース1名、スタッフ引率2名、名古屋クラブから深谷ワイズ（ソウル聖岩クラブの様子確認も）。
- 9/9(土) 名古屋 YMCA 大会 9:30～13:30 KKR ホテル名古屋（申し込みは個人単位で）
日本YMCA同盟杉野歌子氏を講師に、世界YMCA統一「VISION2030」について学ぶ。懇親会費¥5,000
- 9/30(土)～10/1(日) 日和田キャンプ場クローズワーク（復活火祭り Vol. 2）
- 10/29(日) 名古屋YMCA南山バザー 4年ぶりにコロナ前の状態で実施を計画。

- 11/4(土) 名古屋YMCAインターナショナルチャリティーラン（名城公園）
第30回記念大会。4年ぶりリアル開催のみ。みたらし団子などは未定。実行委員長：加藤ワイズ、委員：川本ワイズ
- 11/16(木) 名古屋YMCAチャリティーゴルフ会（鈴鹿カントリークラブ）
参加者・奉仕者募集中。実行委員：中村ワイズ、深谷ワイズ、川本ワイズ

4. その他

- プリテン原稿担当（前月20日締め切り：渡辺ワイズまで）
9月号：巻頭言（都築）8月第一例会レポート（渡辺）8月第二例会記録（川本）
故鈴木侯子メネット追悼文（加藤、谷川）
10月号：巻頭言（中村）9月第一例会レポート（河部）9月第二例会記録（川本）

ハッピーバースデー

メン

5日 久保田 啓 くん



鈴木侯子メネットを偲ぶ

まずは、ご長女から 侯子メネットがご逝去されたとの私宛のお知らせメールです。

7月3日午後2時25分、鈴木侯子満97歳天に召されました。6日に教会にて近親者のみで家族葬を滞りなく執り行うことができました。医心館（終末期ホスピス）にて妹と二人で約2週間 交代で母に付き添い看取ることができました。～中略～ キミコ頑張りました。

名古屋在住の折、また、新潟へ転居した後も変わらずお付き合い頂き母も幸せでした。明るく元気で前向きな母の人生のラストラン、家族の支えで共に走りぬくことができ幸せです。6月の花、紫陽花を見るとキミババを思い出すとします。花言葉・・・辛抱強い愛情 それを介護を通じて母に教えてもらいました。～後略～

私が、こんな（ボランティアを含め50年）に長く名古屋キリスト教社会館で務めることができたのも、鈴木先生が理事として、理事長として導いてくれたからです。そんな鈴木先生を一番大事な家族として支えられた侯子メネットでした。

お二人に会えるのは大きな喜び、活力を分けてもらえ命の泉でした。感謝致します。安らかに眠り下さい。

（谷川 修）

侯子さんを偲んで

縁あって日本基督教団東中通教会（新潟）の会報に、「鈴木武二兄を偲んで」の文章を書かせていただいたのは、2013年12月。それから約10年、鈴木侯子さんの追悼文を書かせていただくことを光栄に思います。

YMCA やワイズでの侯子さんのひとこと（ふたこと）に、その場を盛り上げ、また平らかにする不思議な力がありました。とりわけ武二さんとのやり取りは、漫才のようでした。（思い出し笑いをする方もおみえでしょう。）またメネットとしてのお働きは絶大で、日本区、西日本区、中部でそのリーダーシップをいかに発揮されました。新潟に転居される前、YMCA 関係者でご夫妻に仲人をしていただいた夫婦のごく一部が集まりました。その中には、名古屋ワイズの方も多くおられました。本当は仲人をしていただいた夫婦が全て集まったら、とんでもないことになったでしょう。私たち夫婦もそのうちの1組です。

侯子さんは知る人ぞ知る刺繍の師範で、90歳を過ぎてもなお刺繍を熱心にされていたとお聞きしました。ちなみに名古屋での所属教会（日本基督教団名古屋教会）の聖餐桌のレース刺繍は侯子さんの作品で、現在でも大切に使われています。

今は武二さんと天国での語らい（漫才）を楽しまれていることでしょう。お二人で名古屋ワイズを温かく見守っていただきたいと願います。

楽しいそして豊かなお交わりをありがとうございました。
（加藤 明宏）



Menettes of Nagoya Y's Men's Club

今月の聖句

すると主は、「わたしの恵みはあなたに十分である。力は弱さの中でこそ十分に発揮されるのだ」といわれました。

(コリントの信徒への手紙二 12 : 9)

西村 清

パウロは新約聖書の多くの書簡を書いた人物です。彼は若くして有能な官吏になりました。初めクリスチャンを捕らえ、牢屋に入れるという、キリスト教弾圧の急先鋒でした。しかし復活したキリストに捕らえられ、ユダヤ教からクリスチャンになり、ユダヤのみならず異邦人伝道者になり、いわばキリスト教を全世界に広めた人物です。

しかし彼は人知れず病気を抱え、ずいぶん悩んでいました。それは慢性的なマラリヤ熱から起こる一種のテンカン病のようでした。彼はそれを「肉体の一つのトゲ」と表現しています。あるいは悪性の眼病を患っていたかもしれません。説教をしている時、てんかんの症状が出たり、あるいは書状を送るのに目が見えにくく、苦勞して手紙を書いていたようです。これがなければどんなにか大きな働きが出来るのと思ひ悩みました。パウロはそれを神がサタンを用いて、自分に与えられたものと受け止めています。そしてその目的は自分が思い上がらないように、というのです。ただし彼はそれが取り除かれるようにと神に必死に祈り

ました。しかしその時の神から示された言葉が今月の聖句です。しかも神は繰り返し、この言葉をパウロに語りかけられるのです。

ある人は、「人間の弱さや苦痛を除かれて、神を忘れながら生きるよりは、弱さや苦痛を負いながら、神に結ばれて生きていくことの方が、どれだけ幸せかわからない。そして人生には、しばしば表面上の祈りがよし聞かれないことでも、実際はそれが聞かれたことよりもより以上の大きな祝福がある」と述べています。9節後半「むしろ大いに喜んで自分の弱さを誇りましょう」とあります。自分の弱さを誇るということは、自分の弱さを忘れてしまったとか、弱さがなくなってしまったとかという事ではないのです。弱さを弱さとして、痛みを痛みとしてかかえ、うめき苦しみながら、そこにキリストを仰ぐことが出来る、キリストの恵を味わう事が出来る、このキリストが私と共にいますということにおいて、一切は満たされている、そういう事を、ここでパウロは告白しているのです。

.....

YMCA ニュース

未来のYMCAを担う者

2010年に名古屋YMCAに来て13年経ちます。その間でYMCAの活動で担当した子どもたちの中からユースボランティアリーダーになってくれた子どもが5人います。南山で野外活動していた子どもが3人、刈谷野外が1人、バスケットボールが1人(去年卒業しました。教えていたのはサッカーでした)です。うれしい限りです。ではそこから名古屋YMCAのスタッフになる方は・・・?未定ですが、そうなることを願って活動を続けています。

全国YMCAの総務担当者に、新卒採用の様子を聞くと「財政的に厳しいので新卒採用をしていない」という返答が複数ありました。「ウエルネスのスタッフが雇用で

きない」という意見も多くありました。返信のあったYMCAで、ただ1つ盛岡YMCAだけが、「リーダーから採用が上手くいっている」という返信がありました。盛岡YMCAニュース(名古屋青年と同じもの)を読むとほとんどの記事をリーダーが書いています。子どもたちだけのことに関わらず運営面でもリーダーたちが関わり、YMCAの良さを理解してもらっているのだと思います。スタッフとして社会人として働く良き姿を見せながらともに活動をしていきたいと思ひます。ワイズメンズクラブの皆さんもリーダーたちに社会人として働く姿勢の話をしていただくと嬉しく思ひます。(中井信幸)

ブリテン委員より お願い

各号に例会以外の活動報告を掲載しておりますが、全て当委員では把握できておりません。ワイズやYMCA関係の行事に参加された方はその旨ブリテン委員にお知らせください。宜しくお願いします。